



MS315-18006・MS315-18007 フェンダーエクステンション

取付・取扱要領書

この度は86用TRDフェンダーエクステンションをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は上記TRDフェンダーエクステンションの取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に別紙注意書と共に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

品番・適合一覧表

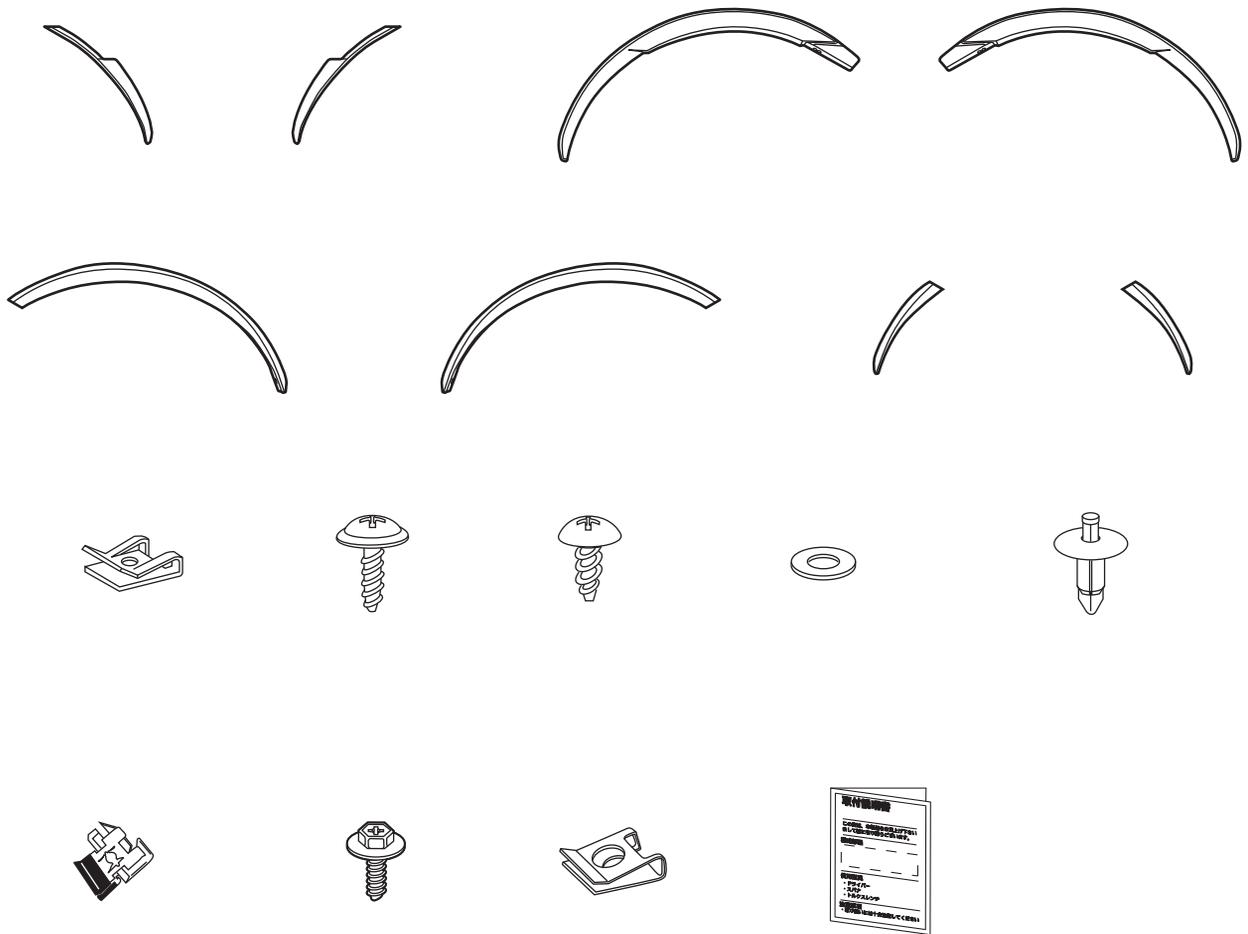
品番	塗装色	備考
MS315-18006-A1	クリスタルホワイトパール (K1X)	86 '16.07~ マイナーチェンジ以降
MS315-18006-C0	クリスタルブラックシリカ (D4S)	
MS315-18006-D1	ピュアレッド (M7Y)	
MS315-18006-E0	オレンジメタリック (H8R)	
MS315-18007-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

構成部品一覧表

	品名	品番	個数	備考
	フェンダーエクステンション パンパ -部 フロント RH		1	
	フェンダーエクステンション パンパ -部 フロント LH		1	
	フェンダーエクステンション フェンダー -部 フロント RH		1	
	フェンダーエクステンション フェンダー -部 フロント LH		1	
	フェンダーエクステンション パネル部 リヤ RH		1	
	フェンダーエクステンション パネル部 リヤ LH		1	
	フェンダーエクステンション パンパ -部 リヤ RH		1	
	フェンダーエクステンション パンパ -部 リヤ LH		1	
	Jナット		2	5mm 大
	タッピングスクリュー		4	5×16
	タッピングスクリュー		4	5×12
	ワッシャー		4	内径5 外径12 t=1.0
	クリップ		2	7用
	Jナット		2	6mm
	タッピングスクリュー		2	6×20
	Jナット		6	5mm 小
	取付・取扱要領書		1	

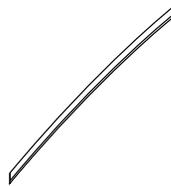
以下、MS315-18007-00 (未塗装品セット) のみに同梱

	品名	品番	個数	備考
	モール		1	黒 L = 800mm
	PACプライマー		1	K-500
⑳	クッション		1	L = 800mm



以下、MS315-18007-00(未塗装品セット)のみに同梱

20



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20以下低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高くと変形やひび割れを起こしますので70以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

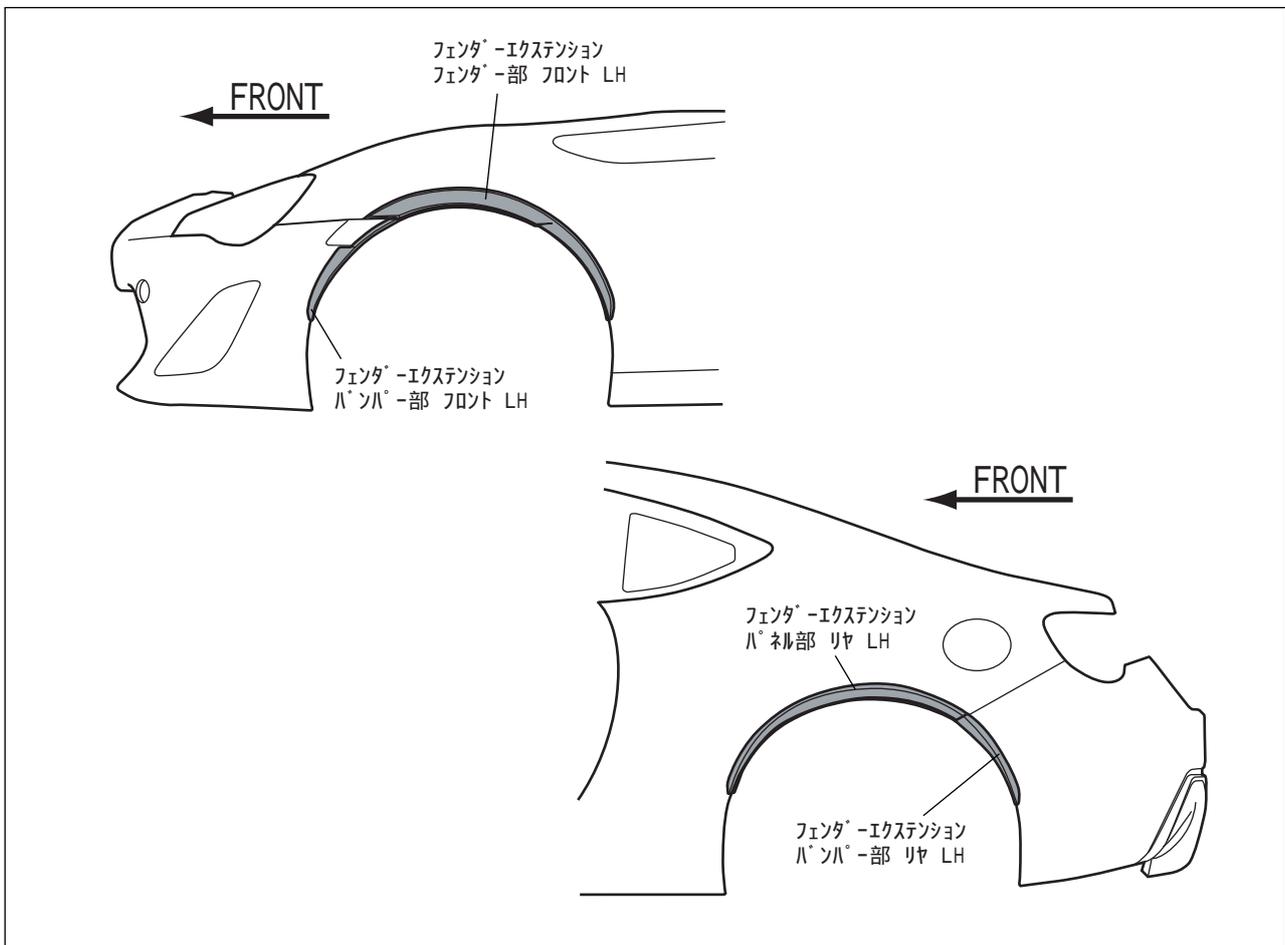
目次

- | | |
|--------------------------------|--------|
| 1 . 表紙、適合表 | 1 |
| 2 . 構成部品表、構成部品図 | 1 |
| 3 . 取付け・取扱いご注意(作業者の方へ) | 2 |
| 4 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 | 3 |
| 5 . 取付け要領 | 4 ~ 11 |
| 6 . 取付け後の確認・点検 | 11 |

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

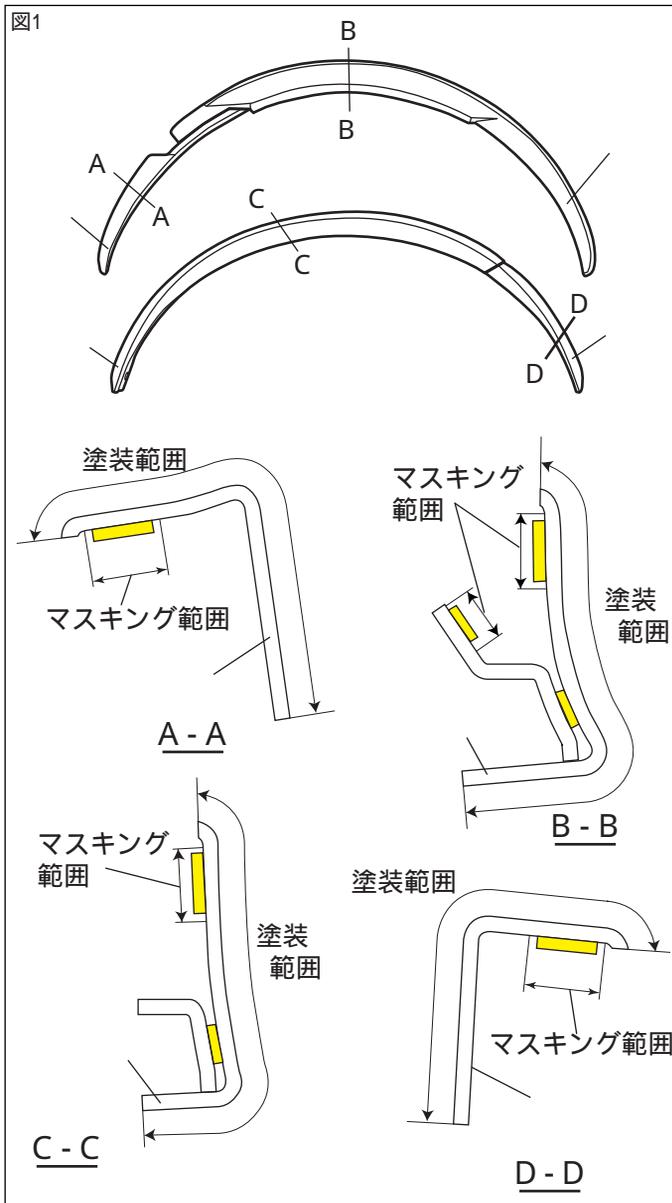
- ・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(I P A)・清潔なウエス

取付構成図



未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS315-18007-00)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

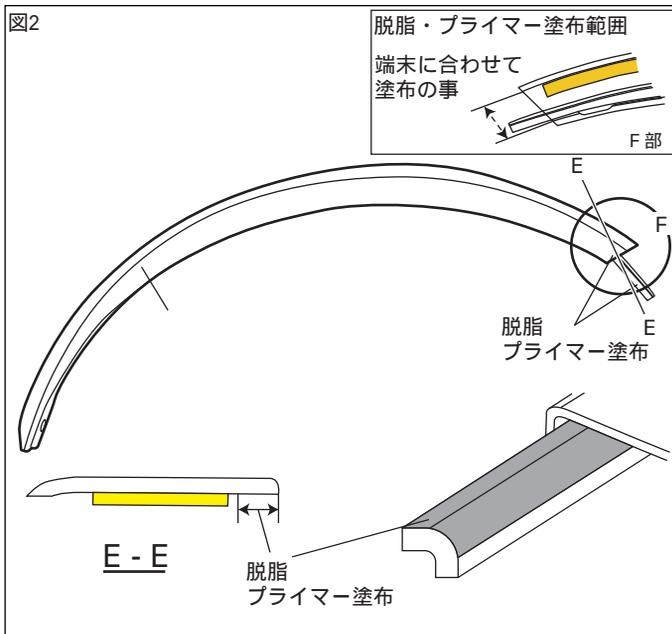
フェンダーエクステンションの塗装

1. 図1のように ~ を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(以下IPAという)を使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

△注意：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。



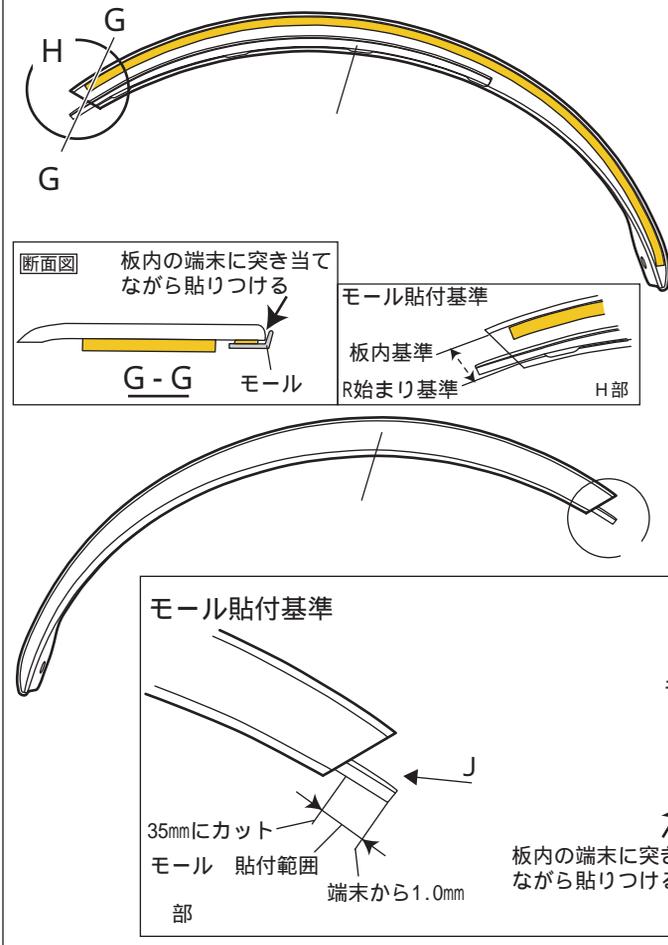
モール・クッションの貼付け

1. 図2のようにモール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

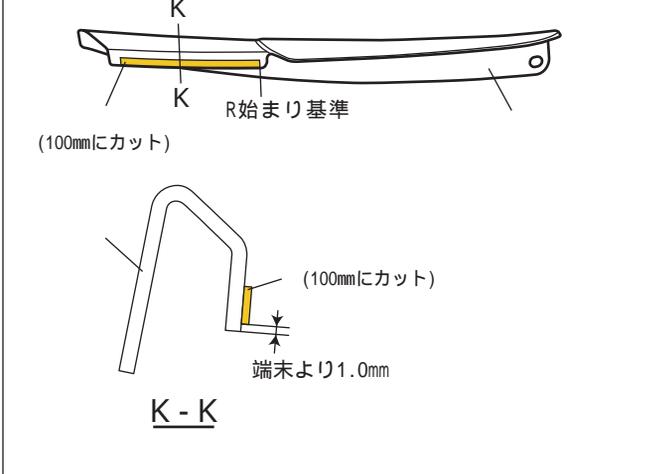
図3



2. 図3のように および に、モー ル の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け {49N(5kgf)以上} 圧着する。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。

図4



3. 図4のようにクッション の貼付範囲の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

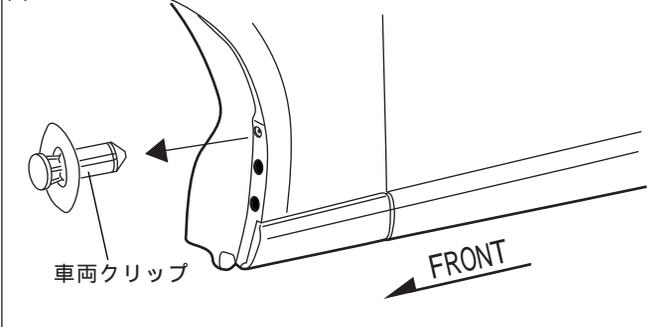
4. 図4のように および の表面に、クッション の離型紙を剥がし、貼付け圧着する。

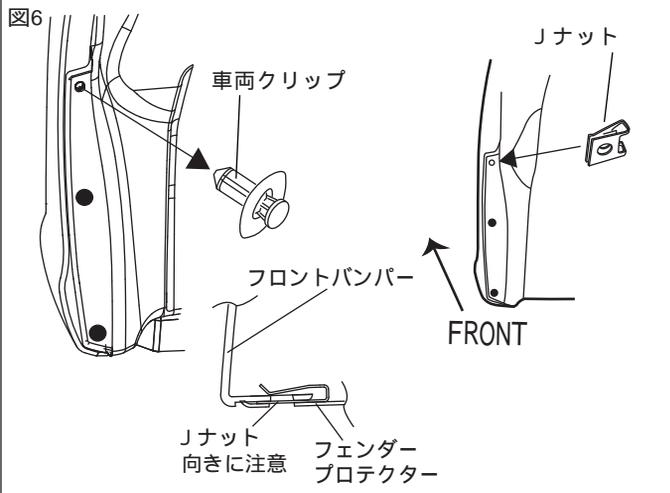
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。

取付準備

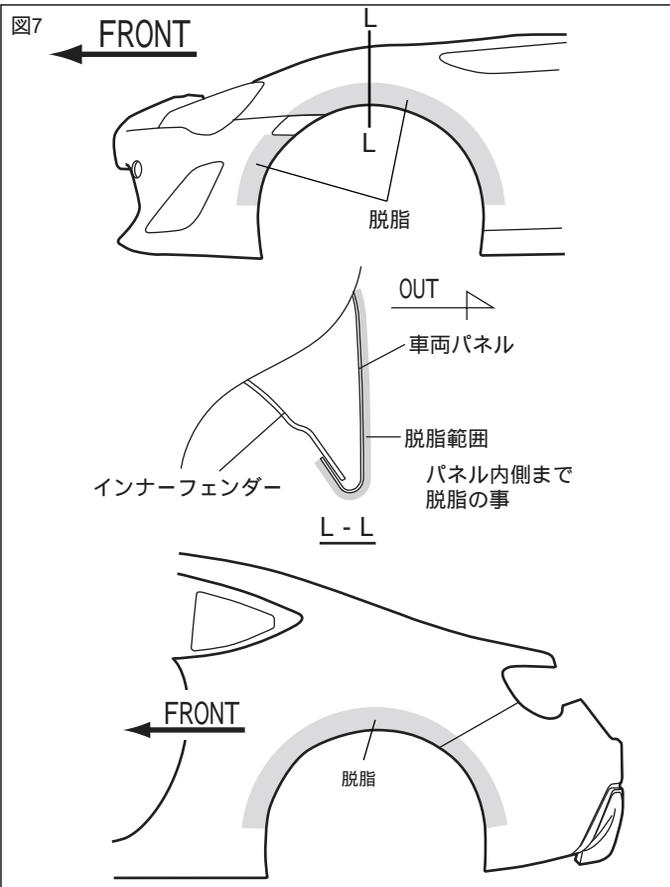
1. 図5のようにフロントホイールハウス部の車両クリップを取外します。(左右各1箇所)

図5





2. 図6のようにフロントバンパーホイールハウスから車両クリップを外し、フロントバンパーの穴にJナットを差込む。
(左右各1箇所)

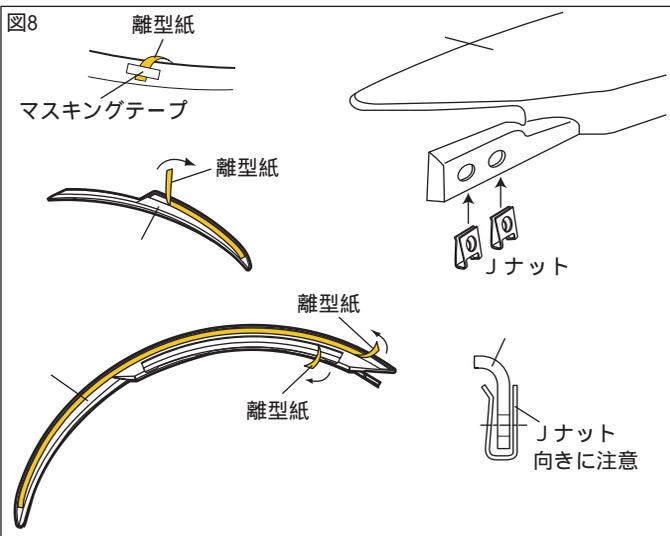


3. 図7のように車両バンパー及びサイドパネルの ~ の取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

⚠警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

⚠注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意：ホイールハウス内の砂汚れが取付け作業時に落下しないように、取付け部周辺のインナーフェンダーの清掃を実施してください。



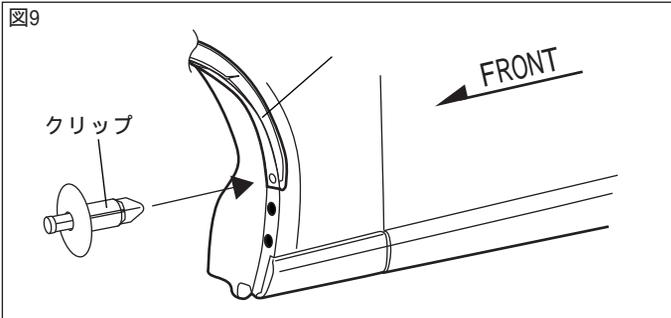
フロントエクステンション取付要領

1. ~ の両面テープ離型紙を、図7の矢印の方向に約30mm剥がしマスキングテープ等で表面に貼付けます。(左右各3箇所)

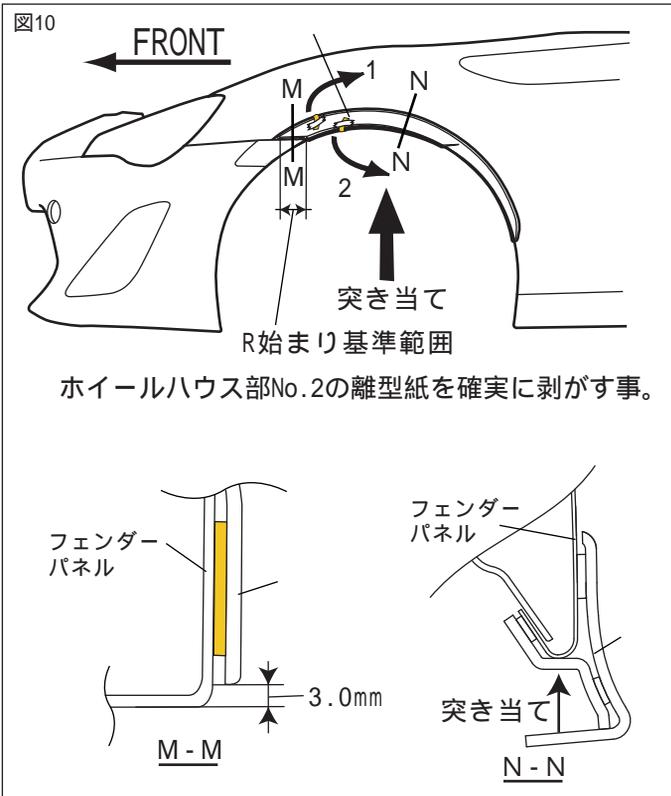
⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

2. 図8のように の先端にJナットを差込む。
(左右各2箇所)

⚠注意：図8のようにJナットの差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリューが取付かなくなります。



3. 図9のように、 を車両に取付けクリップで固定します。(左右各1箇所)



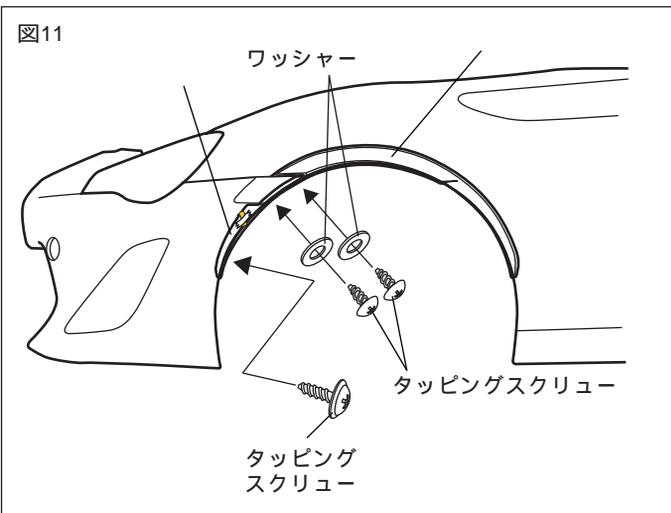
4. 図10のように を車両に突き当て、断面 M M、N Nを参考に位置を合わせ、両面テープの離型紙を左図番号順に剥がしながら貼付け、{49N (5kgf) 以上}まんべんなく圧着する。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。

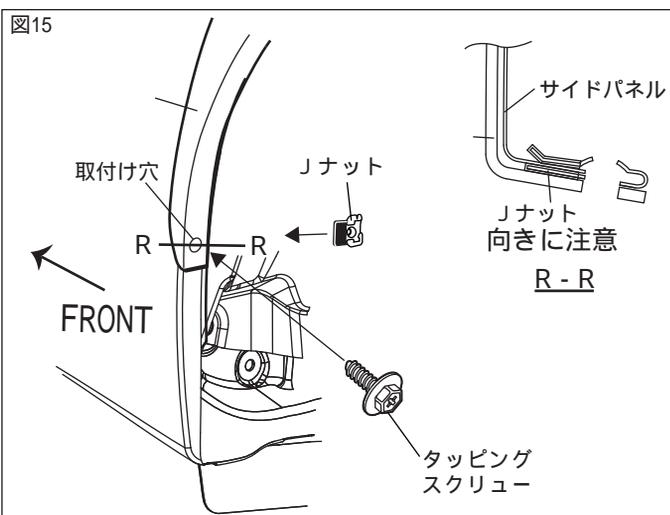
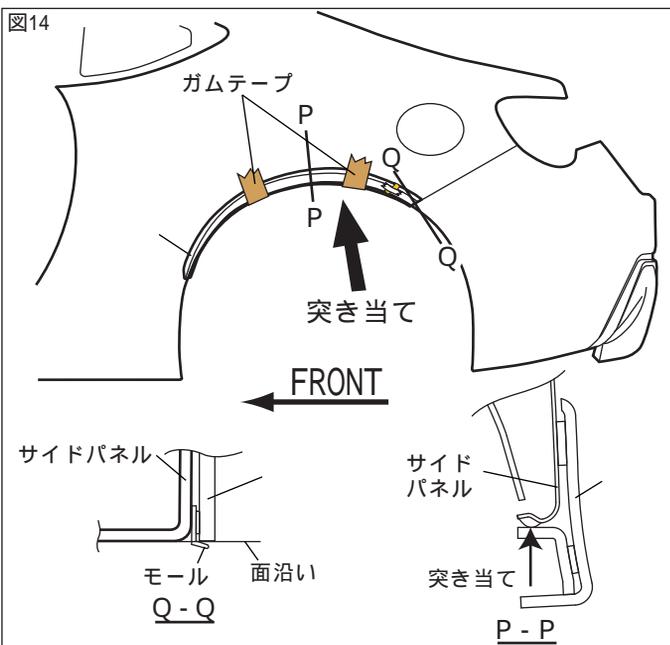
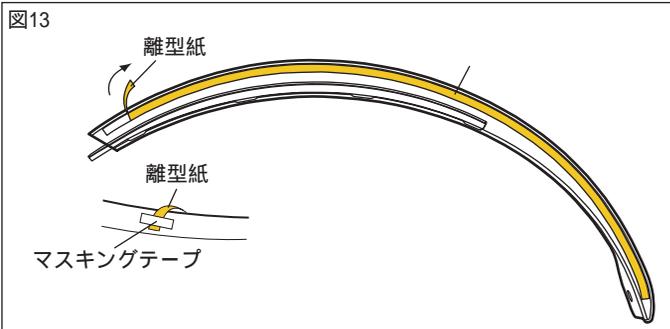
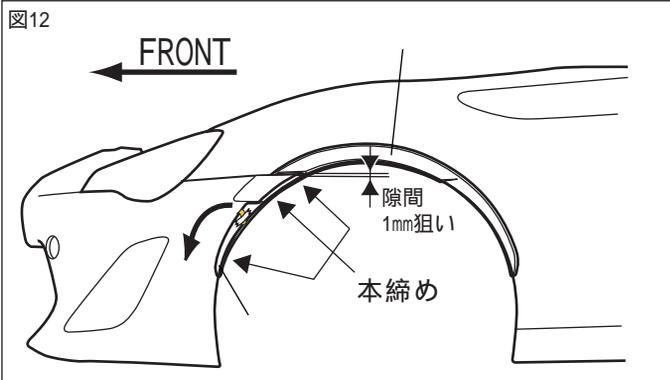
⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



5. 図11のように を取付け、ワッシャーをタッピングスクリューに通し、 に仮固定する(左右各2箇所)。タッピングスクリュー で車両に仮固定する(左右各1箇所)。



6. 図12のように本体 と本体 の隙間を1mmにし、両面テープの離型紙を矢印の方向に剥がしながら貼付け、
{49N(5kgf)以上}まんべんなく圧着し、タッピングスクリュー を本締めする。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めて下さい。

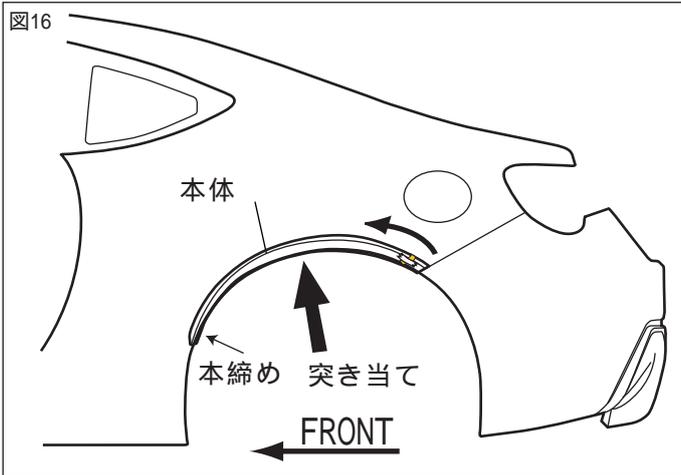
⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

リヤエクステンション取付要領

- 図13のように、の両面テープ離型紙を、矢印の方向に約30mm剥がしマスキングテープ等で表面に貼付けます。(左右各1箇所)
- 図14のように本体 を、サイドパネルの面沿いに合わせ、サイドパネルに押し当てながら、ゴムテープで仮固定します。

- 図15のようにサイドパネルの、本体 の取付け穴に、Jナット を差込み、タッピングスクリュー で仮固定する。(左右各1箇所)

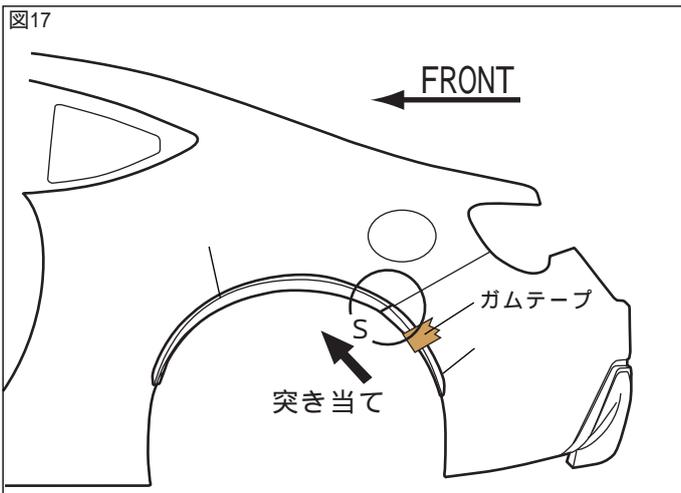


4. 図16のように両面テープの離型紙を、矢印の方向に剥がしながら貼付け、
 {49N(5kgf)以上}まんべんなく圧着し、
 タッピングスクリュー で本締めする。

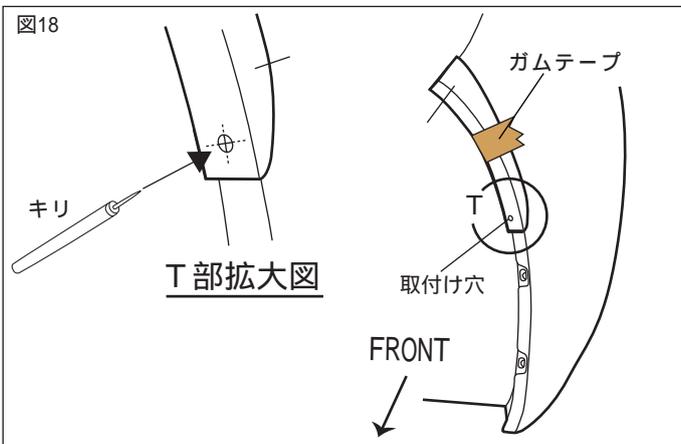
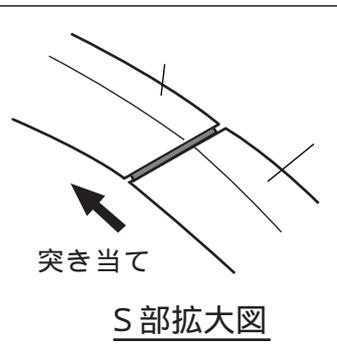
⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。

⚠警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

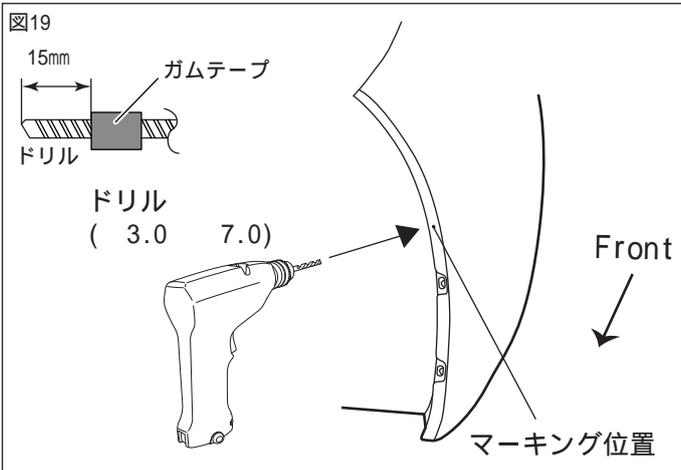
⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



5. 図17のように を 突き当て、ゴムテープで仮固定する。



6. 図18のようにリヤバンパーの、 の取付け穴中心に、キリ等でマーキングし、仮固定していた を取外す。(左右各1箇所)

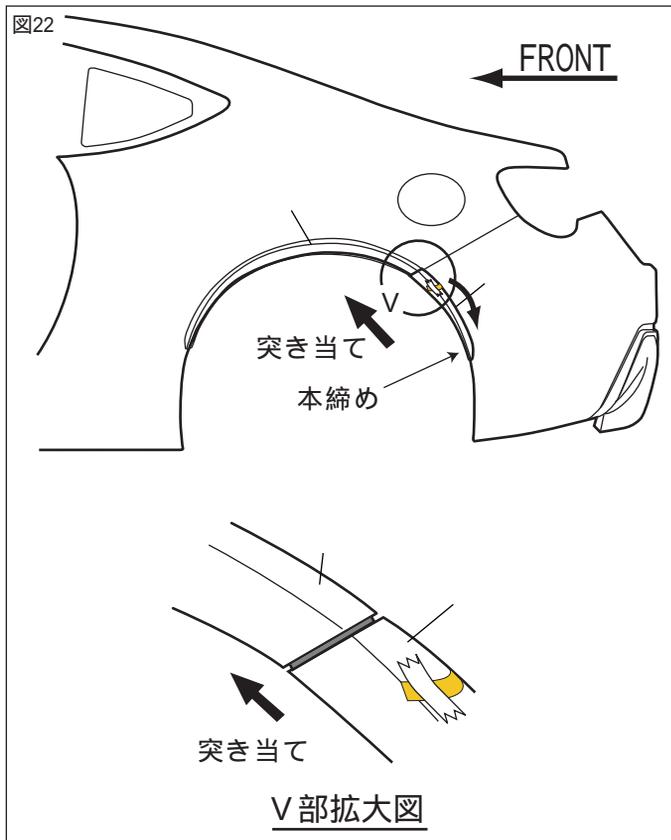
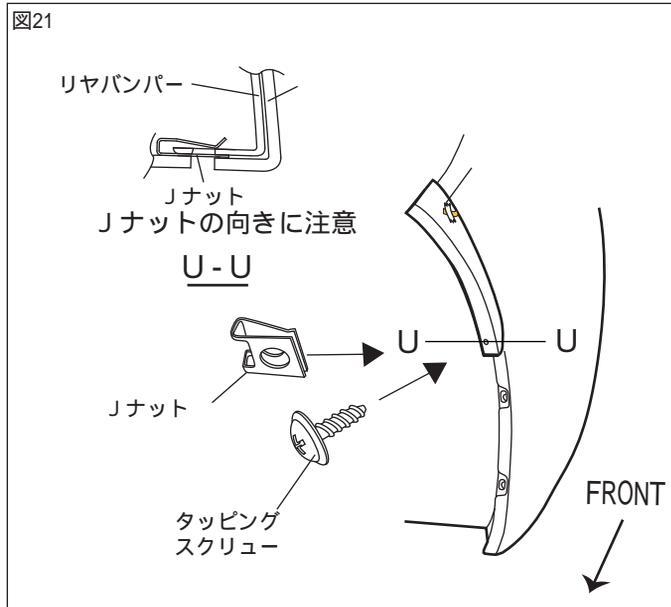
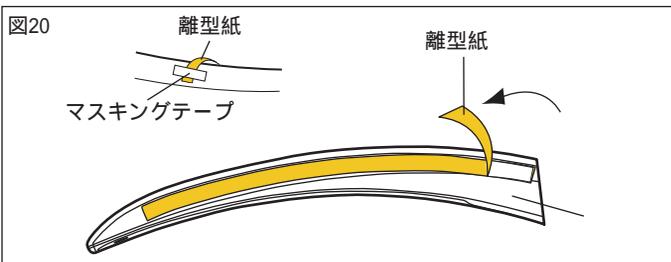


7. 図19に示すように 3.0、7.0のドリル先端にゴムテープをストッパーになるように巻きつけ、手順6でマーキングした位置に、3.0の下穴をあけ、7.0のドリルで本穴をあけ、穴のバリを取除く。(左右各1箇所)

👉アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：バリを取除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。



8. の両面テープ離型紙を、図20の矢印の方向に約30mm剥がしマスキングテープ等で表面に貼付けます。(左右各1箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

9. 図21のように穴開けした場所にJナットを差込み、をタッピングスクリューで仮固定する。(左右各1箇所)

10. 図22のようにをの面沿いになるように押さえ、ホイールハウス面を合わせ、両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け、{49N(5kgf)以上}まんべんなく圧着し、タッピングスクリューを本締めする。(左右各1箇所)

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40程度に暖めて下さい。

△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

取付完了後の点検・注意事項

1. フェンダーエクステンションがタッピングスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. フェンダーエクステンション周りに傷を付けていないかを点検する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。